

2022年6月3日

各位

株式会社岩手銀行

当行店舗で再生可能エネルギー100%電力の使用を開始
～ 地域の水力発電と太陽光発電を活用して、電力の地産地消を実現 ～

株式会社岩手銀行（頭取 田口幸雄）は、野田支店において、久慈地域エネルギー株式会社（代表取締役 若林治男）が供給する岩手県企業局滝発電所の水力で発電した電気を購入するとともに、同社との PPA モデル契約※1 にもとづき同店舗屋上に太陽光発電設備を設置して、再生可能エネルギー100%電力の使用を開始いたしましたのでお知らせします。

当行は、2019年9月に「いわぎんグループSDGs宣言」※2を策定し、2021年8月には「TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）提言」※3への賛同を表明しており、経営理念である「地域社会の発展に貢献する」をすべての活動の拠り所としたうえで、本業の取組みを通じて地域社会におけるSDGsの達成に取り組んでおります。

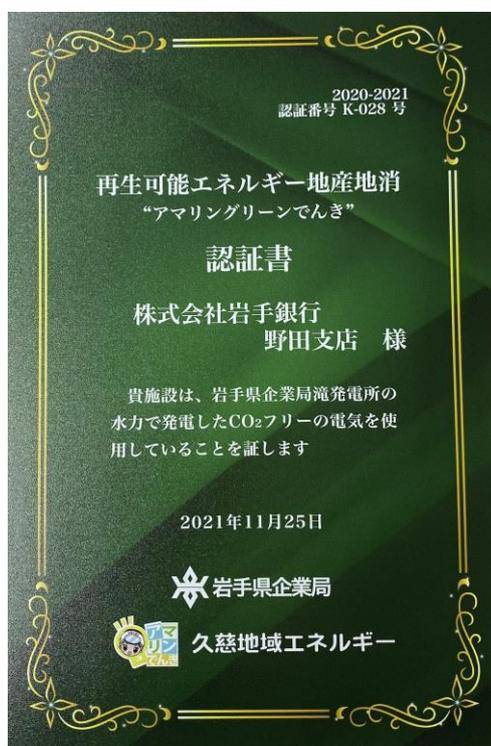
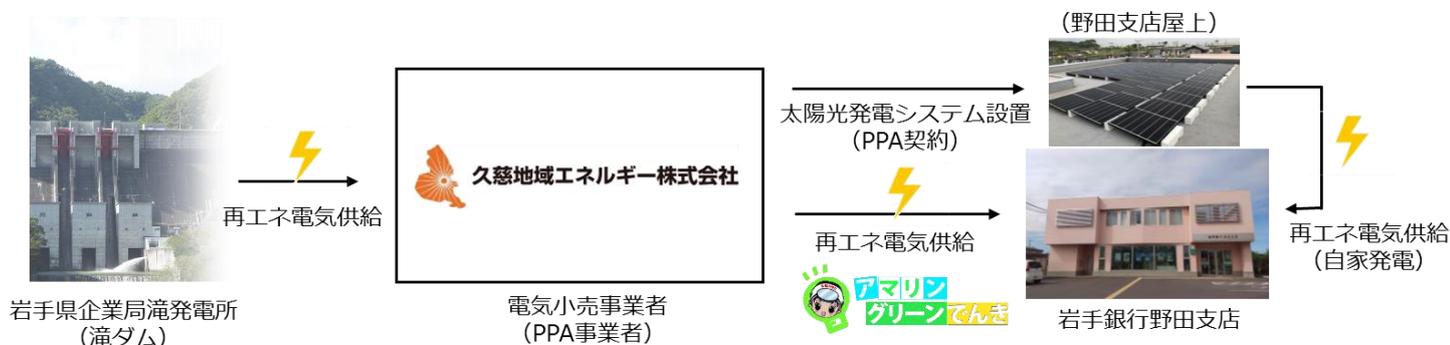
地域の脱炭素化に向けた取組みに関しましては、地域資源を活用した再生可能エネルギーの普及に向けた取組み等を積極的に支援しているところ、当行自らの脱炭素化も進めていくことで、持続可能な地域社会の実現に貢献してまいります。

記

1. 再生可能エネルギー導入概要

当行店舗	野田支店（九戸郡野田村大字野田第19地割132番地）
電気小売事業者	久慈地域エネルギー(株)（久慈市栄町37地割136番地1） 当社は2017年10月設立。久慈市内の地元企業5社と久慈市が出資する、久慈地域の豊かな自然を生かしてエネルギーの地産地消を目指す「地域新電力」です。
電気契約内容	水力発電による電気（愛称「アマリングリーンでんき」）と太陽光発電による電気（PPAモデル）の併用使用
供給（使用）開始日	アマリングリーンでんき…2021年11月25日 PPAモデル…2022年6月3日

2. スキーム図



「アマリングリーンでんき」導入にかかる
再生可能エネルギー地産地消証明書

※ 1 PPA モデル契約：

PPA (Power Purchase Agreement) とは電力販売契約という意味で第三者モデルとも呼ばれます。企業・自治体が保有する施設の屋根や遊休地を事業者が借り、無償で発電設備を設置し、発電した電気を企業・自治体が施設で使うことで、電気料金とCO₂排出の削減が期待できます。設備の所有は第三者(事業者または別の出資者)が持つ形となりますので、資産保有をすることなく再生エネルギー利用が実現できます。



IWATE BANK NEWS LETTER

※2 いわぎんグループ SDGs 宣言：

当行の SDGs 達成に向けた取組みは以下からご覧ください。

<https://www.iwatebank.co.jp/company/effort/sdgs/>

※3 TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）提言：

当行の TCFD 提言への対応状況は以下からご覧ください。

<https://www.iwatebank.co.jp/assets/pdf/disclo2021.pdf>

以 上

【本件ニュースリリースに関するお問合せ先】

株式会社岩手銀行 広報 CSR 室 駿河

DX Lab 小巖

電話 019-623-1111（代表）